

公益財団法人 サントリー芸術財団 音楽事業部

107-6022 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル22F Tel: 03-3582-1355 Fax: 03-3582-1350

No.sfa0027 (2018.3.30)

**第17回（2017年度）佐治敬三賞は
「三輪眞弘＋前田眞二郎 モノローグ・オペラ
『新しい時代』」に決定**



©羽鳥直志

公益財団法人サントリー芸術財団（代表理事・堤 剛、鳥井信吾）は、わが国で実施された音楽を主体とする公演の中から、チャレンジ精神に満ちた企画でかつ公演成果の水準の高いすぐれた公演に贈る「佐治敬三賞」の第17回（2017年度）受賞公演を「三輪眞弘＋前田眞二郎 モノローグ・オペラ『新しい時代』」に決定しました。

●選考経過

応募のあった2017年実施公演について2018年2月26日（月）ANA インターコンチネンタルホテル東京において選考会を開催、慎重な審議の結果、第17回（2017年度）佐治敬三賞に「三輪眞弘＋前田眞二郎 モノローグ・オペラ『新しい時代』」が選定され、3月30日（金）の理事会において正式に決定された。

●賞金 200万円

●選考委員は下記の7氏

礒山雅、岡田暁生、片山杜秀、白石美雪、長木誠司、広瀬大介、宮澤淳一
(2月26日選考会は礒山雅氏を除く6名で審議)

(敬称略・50音順)

<贈賞理由>

世紀のちょうど境目2000年に初演されて衝撃を与えた音楽劇の、17年ぶりの再演である。オペラといっても既成の諸形式の踏襲は一切ない。コンピューター・プログラムで制御され、フォルマント音響合成(佐近田展康による)を駆使した三輪眞弘の音楽が、前田真二郎の映像と一体になり、メディアアートの総合演劇を作り出す。コンピューター・ネットワークの中に神を見出し、光となってそこを永遠に漂う肉体なき旋律情報となることを願う主人公の少年の自死の物語は、既に初演時に衝撃を与え、来るべき21世紀のニューエイジともいべき世代の、ほとんど不気味とすら言えるほどに純粹無垢なヴァーチャルの感性の到来を予告していた。しかし主役のソプラノに必要な極めて特異なキャラクターと声(透明で性ニュートラルな非身体性ともいべきもの)、そして複雑なコンピューター・システムの故に、再演を望む多くの声にもかかわらず、その機会はこれまでなかった。だがこの17年の間に、本作品が描き出した — 初演当時は多くの人にとって現実感がなかったであろう — ヴァーチャル世界はいつのまにか世界を包み込む現実そのものとなり、その前で私たちはただ呆然としている。電気テクノロジーが現実化する超(非)現実という逆説。科学技術による合理化の果てに出現する情報ネットワークの魔界。電脳世界へと人間の主体も身体も解消され、「わたし」と「あなた」といった人称性はもはやなく(この音楽劇がモノログ・オペラの形をとっているのは必然である)、従って何の苦悩も対立も生じないこのすべすべした滑らかな調和の不気味。この上演至難な作品を「いま」の時点でもう一度再演した意義は、まさにここにある。初演時にも主役を歌ったさかいいいしうの、まるで遠い宇宙から送られてくる電波メッセージのように微かで透明な声は、17年の間隔をまったく感じさせず、生身の奏者によって演奏されつつ、コンピューター・システムによって制御される音楽は、完璧に映像プロセスとフィットしていた。芸術とは単に美的なものではなく、時代相の最も深いところにある患部の診断にほかならないということを、これだけ鮮烈に思い出させてくれる作品は滅多にない。以上の理由で「三輪眞弘+前田真二郎 モノログ・オペラ『新しい時代』」に第17回佐治敬三賞を授与する。

<公演概要>

名 称：三輪眞弘＋前田真二郎 モノログ・オペラ『新しい時代』

○愛知公演

日 時：2017年12月8日（金）19：00開演
9日（土）14：00開演

会 場：愛知県芸術劇場小ホール

○大阪公演

日 時：2017年12月16日（土）16：00開演

会 場：あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール

曲 目：モノログ・オペラ『新しい時代』

出 演：さかいいいしう

（キーボード）岩野ちあき、木下瑞、日笠弓、盛岡佳子

（映像オペレーター）古舘健

（音響オペレーター）ウエヤマトモコ

（ミキシングオペレーター）大石桂誉

作曲・脚本・音楽監督：三輪眞弘

演出・映像：前田真二郎

主 催：愛知県芸術劇場（愛知公演）

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール（大阪公演）

以 上

(ご参考)

佐治敬三賞について

公益財団法人サントリー芸術財団（代表理事・堤 剛、鳥井信吾）は、故・佐治敬三（サントリー元会長、サントリー音楽財団元理事長）の功績を記念して、2001年度（平成13年度）から「佐治敬三賞」を創設しました。

この「佐治敬三賞」は佐治の音楽への深い愛情と理解およびチャレンジ精神、パイオニア精神を承継し、新しい世紀のわが国における音楽公演活動の一層の振興を願って、氏の名を冠した新しい賞として制定されました。

この賞は、毎年わが国で実施された音楽を主体とする公演の中から、チャレンジ精神に満ちた企画でかつ公演成果の水準の高いすぐれた公演に贈られるもので、応募のあったものの中から選定されます。賞金は200万円です。

故・佐治敬三は、早くから文化事業への支援に力を入れ、特に音楽界においては1969年（昭和44年）に鳥井音楽財団（現サントリー芸術財団）を設立、サントリー音楽賞をはじめとするわが国の洋楽の振興を目的とした諸事業のほか、東京初のコンサート専用ホール「サントリーホール」の建設・運営などを行ってきました。

1999年11月3日に急逝した佐治の遺族から“音楽界のために役立ててほしい”として遺産の一部が寄付されたことから、当財団で検討した結果、「佐治敬三賞」の創設にいたりました。

これまでの受賞公演

第1回（2001年度）

「篠崎史子 ハープの個展 VIII ～新たな領域を求めて～」

2001年10月19日 東京文化会館 小ホール

「Just Composed 2001 in Yokohama ～現代作曲家シリーズ

～大野和士が描く新世紀の音楽絵巻」

2001年8月31日 横浜みなとみらいホール

第2回（2002年度）

「アンサンブル・ノマド2002年度定期演奏会#1」

2002年9月17日 東京オペラシティ リサイタルホール

第3回（2003年度）

「現代の音楽展2003 室内オーケストラの領域 III」

2003年3月17日 東京文化会館 小ホール

第4回（2004年度）

「三井の晩鐘」

2004年10月24日 イシハラホール

第5回（2005年度）

「next mushroom promotion vol. 8 『細川俊夫～50年のランドスケープ』」

2005年10月15日 ムラマツリサイタルホール新大阪

第6回（2006年度）

「武生国際音楽祭2006」

2006年9月2日～10日 越前市文化センター 他

第7回（2007年度）

「フランス現代音楽からの潮流～井上麻子×藤井快哉 DUO」

2007年11月17日 兵庫県立尼崎青少年創造劇場 ピッコロシアター

第8回（2008年度）

「実験室 vol.2 『偽のアルレッキーノ／カンパネッロ』」

2008年3月27日・28日 ミレニウムホール

第9回（2009年度）

「クロノイ・プロトイ 第5回作品展～弦楽四重奏の可能性」

2009年12月9日 東京オペラシティ リサイタルホール

第10回（2010年度）

「井上郷子^{きょうこ}ピアノリサイタル#19 モートン・フェルドマン作品集」

2010年2月28日 東京オペラシティ リサイタルホール

「東京シンフォニエッタ第28回定期演奏会 湯浅譲二特集」

2010年12月10日 東京文化会館 小ホール

第11回（2011年度）

「林千恵子メゾソプラノ・リサイタル『アペルギス&グロボカール』」

2011年7月27日 門仲天井ホール

「児玉桃ピアノ・ファンタジーvol.1」

2011年9月17日 京都府立府民ホール “アルティ”

2011年9月19日 東京文化会館 小ホール

第12回（2012年度）

「kuniko plays reich in Kyoto」

2012年3月18日 京都芸術センター 講堂

「Sep.5 2012 Thanks to John Cage」

2012年9月5日 サントリーホール ブルーローズ

第13回（2013年度）

「東京現音計画#01～イタリア特集I：

コンポーザーズセレクション1・杉山洋一」

2013年9月13日 杉並公会堂 小ホール

「^{とうほうきたん}東方綺譚 “Nouvelles Orientales de Marguerite Yourcenar”」

2013年10月26日 津田ホール

第14回（2014年度）

「鈴木俊哉 リコーダー リサイタル《細川俊夫ポートレート》」

2014年2月11日 淀橋教会・小原記念チャペル

「ニンフェアール第10回公演 東洋と西洋の絃」

2014年7月20日 宗次ホール

第15回（2015年度）

「トム・ジョンソン《4音オペラ》」

2015年3月25日 杉並公会堂 小ホール

2015年3月28日 愛知県芸術劇場 小ホール

「DUOうたほぎリサイタル2015－春夏秋冬－」

2015年12月17日 東京オペラシティ 近江楽堂

2015年12月23日 青山音楽記念館 バロックザール（京都）

第16回（2016年度）

「伶楽舎第十三回雅楽演奏会～武満徹『秋庭歌一具』」

2016年11月30日 東京オペラシティ コンサートホール

第18回（2018年度）「佐治敬三賞」応募について

2018年1～6月実施公演の応募受付は終了しました。

2018年7～12月実施公演の応募方法は以下のとおりです。

- ・対象公演 2018年（平成30年）7月1日から12月31日の間に国内で実施される音楽を主体とする公演。
- ・応募方法 所定の応募用紙にて応募いただきます。公演の記録映像、録音、印刷物などがある場合は資料として提出いただく場合があります。応募要項・用紙は、住所・氏名・電話番号を明記の上、郵送またはFAXにてサントリー芸術財団までご請求下さい。また当財団ホームページからもダウンロードできます。
- ・応募期間 2018年4月1日（日）から5月31日（木）
- ・お問合せ先 公益財団法人サントリー芸術財団 音楽事業部
〒107-6022

東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル22階
私書箱509号

電 話（03）3582-1355

FAX（03）3582-1350

<http://suntory.jp/sfamusic/>

以 上